

《ポイント》

●アレバロ大統領は、世論調査での支持率が 54%となり比較的好意的な評価を維持する一方で、大雨災害、補正予算審議、保健大臣辞任、主要港の荷役取扱い会社との契約無効判決等、山積する国内問題を理由に予定していた欧州訪問を取りやめることとなった。

●外交面では、アレバロ大統領が国連総会に出席し、汚職撲滅のための連帯を呼びかけた。また、カストロ・ホンジュラス大統領、レティシア西王妃の当国訪問、マルティネス外相による欧州訪問等、引き続き活発な外交活動を展開した。

●経済面では、郷里送金が昨年同期比 9.2%の伸びを記録した。また、投資に関し、経済界の会合に出席したアレバロ大統領は、矢崎総業による進出を投資の好例として言及した。インフラ関連では、首都圏メトロ整備計画の工程表が発表された他、アウロラ国際空港改修における官民連携の可能性も話題となった。

【本文】

1 内政

(1) 政府内人事：遅延していた県知事任命が完了

ア 12 日、コルドン保健大臣が健康上の理由で辞任し、15 日、後任としてサンドラ・アパリシオ新保健大臣が就任。(往電第 494 号、第 498 号)

イ 県知事の任命は、レタルレウ、バハベラパス、サンタロサの 3 県が未了であったが、24 日、大統領による指名がなされ、全 22 県の知事が出そろった。

(2) 世論調査：アレバロ大統領は比較的高い支持率を維持

当地主要紙は、CID GALLUP 社による中南米 12 か国の国家元首の支持率を発表。アレバロ大統領は 54%。なお、1 月の調査では 78%であった。

(3) 最高裁裁判官選出：手続きが着実に前進している。

ア 11 日、アルマグロ OAS 事務総長は、監視団 3 名の任命を発表。24 日に当国に到着。

イ 21 日、大学法学部長、弁護士会会員、現役裁判官、計 37 名で構成される選出委員会メンバーが決定。10 月の裁判官就任には、遅くとも 9 月 26 日までに議会に対して候補者リストを提出する必要がある。

(4) 大統領は内政上の課題に対応するため外国訪問を取りやめ

アレバロ大統領は、大雨災害、補正予算審議、保健大臣辞任、以前の政権による不正に絡む主要港荷役取扱い会社の契約無効判決を受けた物流停止危機等の国内情勢を受け、14 日から 22 日にかけて行う予定であった欧州訪問を出発直前に取りやめた。なお、マルティネス外相が大統領の代理として訪問を実施した。

(5) 補正予算案、来年度予算案：有識者は透明性の確保を要請

ア 財務省は議会財政委員会に対し、144 億ケツアルの補正予算案の詳細を説明。これを受け、同委員会は、補正予算について外部機関の評価を聴取した。27 日付報道によると、複数のシンクタンクが、補正予算案の総論には賛成しつつ、特に地方への交付金は汚職の温床になるため使途を明確にする必要があると指摘した。

イ 10 日、財務省は別途、2025 年度一般会計予算の検討開始を発表。

(6) 内政その他

ア 退役軍人のデモが発生。

内戦時に兵役に服した退役軍人らは、前政権時代に決定された一時金（毎月 1,000 ケツアルを 36 回に分けて支給、対象 44,000 人）の支給が 3 か月中断しているとして、26 日に全国各地でデモを実施。財務省は 1 か月分の支払いは行うが、現在審議中の補正予算案が承認されなければ支給は困難であるとした。野党からは同一時金は 2023 年に支給開始しているため、現行予算で対応可能との批判を強めている。

2 外交

(1) アレバロ大統領の国連総会出席：汚職対策への連帯を呼びかけ

3日、アレバロ大統領は第78会期国連総会第84回全体会合に出席し、グアテマラの現状に言及しつつ、汚職に取り組むため多国間主義の重要性を強調し、国際社会の連帯の必要性を訴えた。

(2) マルティネス外相の欧州訪問：ウクライナの平和に連帯、ローマ教皇謁見他

マルティネス外相は、6月16日から21日かけてアレバロ大統領の代理で欧州を訪問。ウクライナの平和に関するサミット（於スイス）、第21回国際腐敗防止会議（於リトアニア）に出席した。また、ローマ教皇フランシスコに謁見し、アレバロ大統領による教皇へのグアテマラ訪問の招待を伝達した。（往電第518号）

(3) カストロ・ホンジュラス大統領のグアテマラ訪問：隣国と幅広い分野で協議

21日、アレバロ大統領はグアテマラを訪問したカストロ・ホンジュラス大統領と国家文化宮殿において会談。SICAの再活性化、関税同盟、移民、開発、気候変動、両国を跨ぐモタグア川の汚染等について協議した。「ア」大統領は、年内にSICAの枠組みでホンジュラスを訪問すると言及。（往電第513号）

(4) レティシアスペイン王妃のグアテマラ訪問：経済協力案件を視察

4日から6日かけてレティシアスペイン王妃が当国を訪問し、ルクレティア・アレバロ大統領夫人と会談したほか、スペイン政府による首都歴史地区改修、職業訓練校の現場視察やスペイン国際協力開発庁（AECID）関係者との意見交換を実施した。

(5) 中国、台湾関係に関するオンライン討論会：台湾との国交維持を呼びかけ

5日、当地主要紙プレンサ・リブレは、「中国と台湾の間のグアテマラ」と題するオンライン討論会を開催。当国専門家は中国におけるグアテマラ農産品の輸入差し止め問題については、WTOの枠組みで毅然と主張をしていくことが肝要とした。また、近年中国との国交を樹立した国の多くは対中貿易赤字を抱えている上、中国経済への依存度が高まっているとして対中関係に注意を促した。

3 経済

(1) マクロ経済：引き続き好調

5月の郷里送金は19億8千万ドルに達し、先月比約7.1%増加を記録。1月から5月の総額は85億ドルに達し、昨年同期比9.2%増加。中央銀行は、郷里送金は対GDP比19.6%に匹敵すると発表。なお、政策金利は5%に据え置かれた。

(2) 貿易・投資：「ア」大統領は矢崎総業による投資を好例と言及

6月6日、二国間商工会議所協会（ASCABI）主催の会合にアレバロ大統領が招待され、スピーチ及び質疑応答が実施された。グアテマラ・日本商工会議所からはシエカビッツァ会頭が出席。アレバロ大統領は、投資誘致のため、法の支配と法的安定性を担保すべく司法改革に取り組んでいると述べた。また、インフラ整備や競争法成立の重要性にも言及し、電力アクセス向上、電源多様化の文脈で地熱発電を含む再生可能エネルギーへの投資への関心を表明。矢崎総業による当国での工場開設は最近の投資の好例として紹介し、同社の第二工場建設に期待を寄せた。（往電第480号）

(3) 個別案件：政府はインフラ整備への取組に前向き

ア ケツアル港のコンテナターミナル停止危機を回避。

当国コンテナターミナルの60%を占め、貿易の25%を取り扱うオペレーター企業（APM）が他の企業から引き継いだ港使用に関する契約について、エスクイイントラ県地方裁判所は、これを汚職に絡み無効であると判断した。同判決により物流が麻痺する可能性があったが、28日、同裁判所は当面の間 APM 社の営業を認める暫定措置を決定。今後政府は入札を行うか、司法手続きを経て APM 社と再契約する必要がある。

イ 首都圏メトロ整備計画工程表の発表

27日、当地主要紙プレンサ・リブレ紙は、政府及びグアテマラ市が計画している首都圏におけるメトロ建設の見通しについて報じた。2027年中頃に南北線（Linea Blanca）の一部運転開始を見込んでいるが、これを実現するには本年9月に事前調査を開始する必要がある。同調査経費は補正予算に盛り込まれており、議会による承認が必要な状況。なお、専門家らは、経路の付近を占有する貧困層の問題、駅に通じる幹線道インターセクションの欠如、高架橋部分の工期延長の可能性等、関連する諸課題を指摘した。

ウ アウロラ国際空港の運営改善

18日、アレバロ大統領は、運営面で様々な問題を抱えるアウロラ国際空港を視察。エアコン、エスカレータ、X線検査装置の更新、雨漏り補修等に2億ケツアルが必要であり、議会による補正予算の承認を望む旨発言した他、空港運営につき官民連携導入の意向を明らかにした。

専門家らは、国内には国際空港運営のノウハウを持つ企業はないため、運営は民営化し、国際入札を実施すべきと指摘。

エ 環境資源省が汚職の可能性のある不適切な鉱山採掘を指摘。

14日、環境資源省は、フティアパ県セロ・ブランコ鉱山において金・銀の採掘を行っているElevar Resources社が、2021年に坑内採掘から、より環境負荷の高い露天掘りへの変更を行ったことは不適切であったとして同社に新たな環境影響調査結果を求めた上で採掘を中断すると共に、同変更の許可を行ったディエゴ・ペレス前環境・天然資源管理局長を告発した。同前局長は、既に別件で背任と職権濫用の疑いでも告発されている。なお採掘企業側は、行政側のミスとして環境資源省による要請を拒否している。

4 災害：長雨による物的被害が発生

雨期に入り、長雨による道路陥没、橋の崩落、土砂崩れ等の被害が全国各地で発生している。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2024 年		2023 年	2022 年
	6 月	5月		
インフレ率(前年同月比)	3.62%	3.76%	6.27%	9.24%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	△16,124.2	△16,437
輸出(百万ドル)	未発表	未発表	14,194.3	15,684.3
輸入(百万ドル)	未発表	未発表	30,318.5	32,121.8
外貨準備高(百万ドル)	21,412.4	21,671.3	21,319.4	20,019.8
外国からの送金(百万ドル)	1,760.6	1,980.1	19,804.0	18,040.3
為替レート(対ドル月平均)	7.78	7.79	7.85	7.77

以上